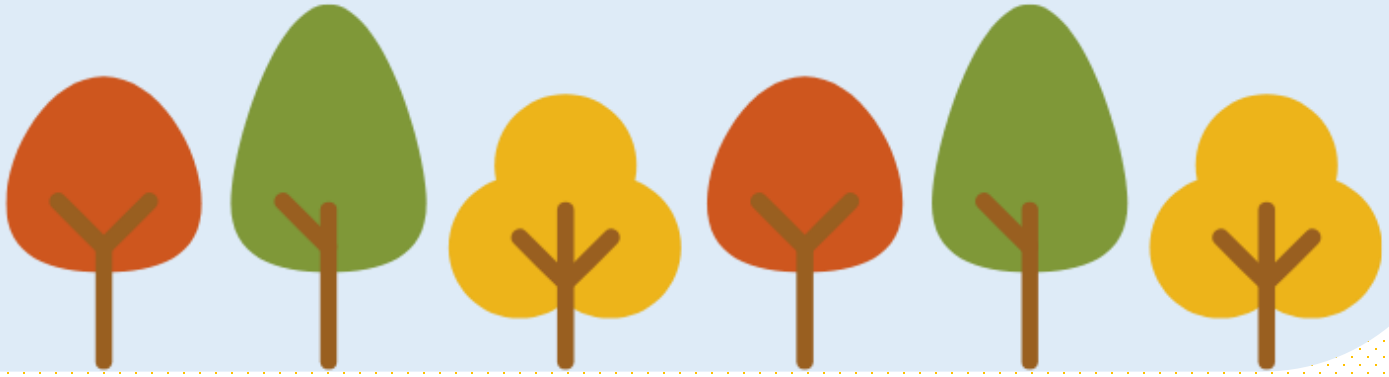
地ケアつながりプロジェクト

のぼりとミーティング

地ケ算紹介シート



登戸地区で生まれた地ケ算紹介



『地ケ算』とは、今ある取り組みに地域や団体が持つ
“強み”や“資源”をちょっとプラスアルファ・掛け算することで
地域活動が豊かになる取組のことを指します。
ここでは登戸地区で実施された『地ケ算』についてご紹介いたします。

マークの意味

▼継続マーク

継続：**継続して行われている取組**

▼スピンオフ企画

のぼりとミーティング スピンオフ企画：**年に２回開催する、交流会の中で出てきた意見やアイデアをもとに、行政と協力メンバーで実施された取組**

▼地ケ算メガネ

地：**のぼりとミーティング以外での出会いをきっかけに生まれた取組や、普段からの取組でメガネ（フィルター）を通してみると、地ケ算の概念と一致するもの**

登戸地区で生まれた地ケ算紹介

地ケ算一覧

01　地域住民に向けた乳幼児のお薬の飲ませ方講座 継続

02　幼児の生きる力を育む幼保小連携の校内授業研究会 地

03　まちの保健室 継続 地

04　総合的な学習の時間を使った「薬剤師のお仕事紹介」

05　プラバン制作（福祉授業）

06　健活SpotGuide～明日の健康 コミュニティーカフェめぐり～

07　若者料理教室（多世代交流調理体験会） 継続 地

08　ふくし寄合処による介護予防教室 継続

09　ボッチャクラブ交流会

10　広報ワークショップ by NAGOMI～まちの縁側～

のぼりとミーティング スピンオフ企画

地ケ算 1

地域住民に向けた 乳幼児のお薬の飲ませ方講座

継続

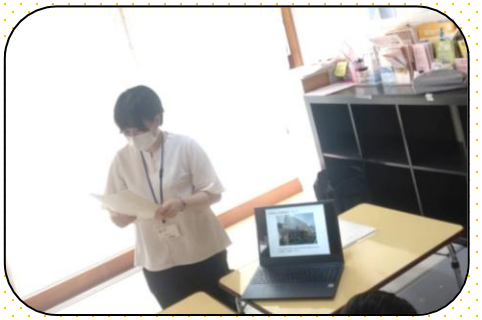
実施日 令和7年6月9日（月）
10:30～11:30

場　所 ままとんきっず　事業所

地ケ算メンバー ままとんきっず × クリエイト薬局 川崎向ケ丘遊園店

内　容

令和7年2月4日(火)に開催した令和6年度第1回のぼりとミーティングでのつながりをきっかけに今回の開講が決定いたしました。
講義には２組の親子が参加し、講義を聴いていました！
薬の種類ごとの飲ませ方や管理方法、効果の違い等を教えていただきました。



参加した親子からの感想

・今までお薬を飲ませたことがなく、飲ませる時のためにとても参考になった。
・お菓子やチョコレートに混ぜてもいいという事を知って驚いた。
・近くの支援センターでお知らせを受けた。参加して良かった。



講師の方からの感想

・お店でもお薬の飲ませ方を教えているが、講義形式で教えるのは初めてだった。
・じっくり説明できたので良かった。

地ケ算 2

幼児の生きる力を育む、幼保小連携の校内授業研究会

実施日 令和7年6月13日（金）
13:45～16:00

場　所 登戸小学校　体育館

地ケ算メンバー 登戸小学校 × 地域の保育・幼稚園（登戸地区含む）

内　容

登戸小学校の授業研究会に講師として東九州短期大学の小林宜義先生をお招きし、「幼児期における運動の重要性についての講座」を開催！
幼保小連携事業会議での交流をきっかけに、登戸小学校が幼稚園・保育園の先生を校内授業研究会に招待。
講義には、幼稚園・保育園の先生9名、登戸小学校の先生約30名が参加しており、実際に体を動かしてコオーディネーション運動を体験しながら、幼児期における運動の重要性を学びました！



リレー形式で風船を空中に上げながら前進する運動の様子



参加した幼稚園・保育園の先生からの感想

- 幼児期の運動の重要性について知れたので、早速、保育園でも実践してみようと思った。
- 体を動かしながらの講義だったので、クラスの生徒のことを考えつつどのように教えるといいのかイメージすることができた。
- 今回学んだことを、（先生が）主体的に生徒たちにどんどん教えて行きたいと思った。

地ケ算
3

まちの保健室

たまふれあいグループ
Tama Fureai Group

継続

地

実施日 令和7年10月14日（火）
13:30～15:00

場　所 登戸老人いこいの家
(登戸新町237番地)

地ケ算メンバー 多摩区社会福祉協議会 × たまふれあいグループ × 登戸地域包括支援センター

内　容

令和5年度多摩区社協・登戸包括共催の「健康まつり」に、たまふれあいグループが「まちの保健室」で協力したことがきっかけで始まった取組です。
フレイル予防・健康増進を目的に1年を通して各地区の老人いこいの家で開催しております。
今回は血管年齢・骨チェックや健康・介護・施設相談に加え、登戸老人いこいの家限定で認知症予防コグニサイズ運動も実施しました。限定実施の内容は各地区のニーズによって変えているそうです！また、参加いただいた地域住民の方に、たまふれあいグループのボランティアの方々が作った、住まいに近い地域包括支援センターの連絡先マグネットを配布していました！

スタッフの方の感想

団体同士の協力でより多くの住民の方に対して、健康づくりに対する意識向上や、いこいの家・包括を知らない方への周知ができた。

▼ 骨チェック



▼ 健康・介護相談



▼ コグニサイズ体操



▼ マグネット配布



地ケ算
4

総合的な学習の時間を使った「薬剤師のお仕事紹介」

実施日　令和7年10月30日（木）
14:00～14:45

場　所　川崎市立登戸小学校

地ケ算メンバー　川崎市立登戸小学校 × クリエイト薬局川崎向ケ丘遊園店

内　容

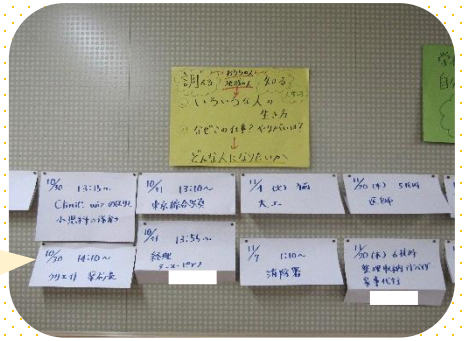
令和7年7月29日(火)に開催した令和7年度第１回のぼりとミーティングでのつながりをきっかけに今回の開講が決定いたしました。総合的な学習の時間で『キャリア』をテーマに置く、小学6年生を対象に「薬剤師のお仕事紹介」を行いました。薬剤師は、病院や薬局でお薬を作ったり、正しく使えるよう説明したりする仕事だということを伝えていました。



薬剤師の方の感想

薬剤師の仕事についてや薬剤師になるまでについて質問も多くいただき、とても熱心に聞いていただけました。今回の活動を通して、登戸の地で活躍する大人の仕事について話を聞くことで小学生の皆さんの将来を考えるきっかけになれたらうれしいです。

登戸小学校では様々な職業の方をお招きし、お仕事紹介を通じて、将来のキャリアについて学んでいました！



地ケ算
5

プラバン制作（福祉授業）

継続

実施日 令和8年1月28日（水）
10:45～12:15

場　所 登戸小学校

地ケ算メンバー 登戸小４年生 × いっぽいっぽ利用者
（いっぽ舎・多摩ワークショップ）

内　容

福祉授業・ボッチャ体験の後、インプットのみの活動から、双方が関わりながら作品を作り上げていく体験として、一緒に制作活動を行いました。
プラバンにイラストを描いて、合わせてひと言標語も。完成品はプラバンストラップになりました。



いっぽいっぽスタッフの方の感想

作っておしまいでなく、一緒に販売までしたいという希望がありました。
カリキュラム的な時間制限のため、実現にまでは至りませんでした。
工夫して実現できたらと思います。



地ケ算
6

健活SpotGuide～明日の健康　コミュニティカフェめぐり～

実施日　令和７年１月～6月
（令和７年９月作成）

場　所　登戸周辺の地域カフェ　等

地ケ算メンバー　CafePOP！
NAGOMI-まちの縁側-　ほか

×

たまふれあいグループ
生活支援コーディネーター（SC）

内　容

このガイドブックは「多摩区カフェまっぷ」や「のぼりとミーティング　活動紹介ハンドブック」に掲載されているスポットを実際に訪れ、地域活動デビューした方の感想を参考に作成したものです。
「身近にこんな活動があるなんて知らなかった。みんなにも知ってもらいたい！」というご本人の思いを形にしました。



たまふれあいグループ　生活支援コーディネーター（SC）の感想

訪問リハビリを利用していた健活女子“もーちゃん”に調査員になってもらい、各々の活動を巡った感想をもとにマップを作成しました。おかげで運動習慣ができてご本人は訪問リハビリを卒業！協力してくださったスポット（地ケ算メンバー）の皆様に感謝です。

地ケ算 7

若者料理教室（多世代交流調理体験会）

継続

地

実施日 令和８年１月３１日（土） 9:30～12:30

場　所 多摩区役所６Ｆ 調理室

地ケ算メンバー たまふれあいグループ 障害支援事業所 たまフレ！ × 食生活改善推進員 連絡協議会 （ヘルスメイト） × たまふれあいグループ たまふれサポーターズ

内　容

たまふれあいグループの農園イベントへの協力依頼をきっかけに、食生活改善推進員連絡協議会のヘルスメイトさんとのイベント交流が始まりました。
栄養のプロであるヘルスメイトさんに、障害者の余暇活動の「調理体験会」に協力していただき、地域住民の「たまふれサポーターズ」さんが体験会のボランティアをして、食を通して分野を超えた多世代交流の場になっています。



障害支援事業所たまフレ！の感想

ヘルスメイトさんによる調理・栄養指導と、障害に理解のある「たまふれサポーターズ」の皆さまにご協力いただき、たまフレ！の就労支援の取組みを地域の皆さまに知っていただくとともに、利用者が地域の方々と関わる機会を持つことで、より一層の自立促進につながったと思います。
「食に関する仕事に就きたい！」という利用者も現れ、ヘルスメイトさんやサポーターさんも若者から元気をもらい、やりがいを感じていただけたようです。

地ケ算 8

ふくし寄合処による介護予防教室

継続

実施日 令和7年7月8日（ 火 ）
13:30～15:00

場　所 登戸老人いこいの家

地ケ算メンバー 多摩区社会福祉協議会 × 登戸地域包括支援センター

内　容

ふくし寄合処において高齢者の集いの場の活性化を図る目的として共催で活動を行いました。
包括の看護師による熱中症対策の講話や部屋の温度が確認できるチラシの配布、ご自身の歩行を再確認していただき転倒予防に繋げていただく歩行の健康診断を企画しました。

今年度も夏の猛暑が予想され7月に看護師による熱中症に関する健康講話を行いました。11月には認知症予防として脳トレやイス体操を企画しています。



参加職員の感想

参加者の皆さんにいこいの家での集いの場「ふくし寄合処」、介護予防に対する意識づけや高齢者の相談の場である包括の周知が行えました。
歩行の健康診断では、普段なかなか知ることのできない自分の歩き方のクセを知ることができ、転倒予防の意識づけに繋がりました。地域の介護予防、健康増進のために、他職種の方とも連携して内容や周知の方法を工夫していきたいと思います。

地ケ算
9

ボッチャクラブ交流会

実施日 令和８年８月２３日（日）午後

場　所 多摩区役所５階 第一・第二学習室
（多摩市民館）

地ケ算メンバー NPO法人いっぽいっぽ
いっぽ舎・多摩ワークショップ
（ボッチャクラブ）
×
（一社）WSG Community Design
WSG FOOTBALL CLUB

内　容



のぼりとミーティングでの出会いをきっかけに、NPO法人いっぽいっぽの利用者の皆さんが活動する「ボッチャクラブ」にWSG FCの子どもたちが参加しました。いっぽいっぽの皆さんがWSG FCの子どもたちにルールや競技方法を教えながら交流しました。
一緒に競技をする中で自然と会話が生まれ、ボールを拾う事が大変な利用者を見かけたら、子どもたちが率先してボールを拾い手渡す姿も見られました。

NPO法人いっぽいっぽ ボッチャクラブの皆さんの感想

・子どもたちが自然とボールを拾って手渡してくれたことが嬉しかった。
・年齢や障害の有無に関係なく、周りの状況を見て「今、自分が何をすればよいのか」を考えて行動できる子どもたちの姿に刺激をもらった。

地ケ算
10

令和8年度のぼりとミーティング　スピンオフ企画

広報ワークショップ by NAGOMI～まちの縁側～

のぼりとミーティング スピンオフ企画

実施日　令和８年６月２６日（金）
13:00～14:30

場　所　多摩区役所11階　1101会議室

地ケ算メンバー　NAGOMI ～まちの縁側～ × 療育ねっとわーく川崎 Cafe POP!、たまふれあいグループ、ワーカーズコレクティブ くるみ、SKYかわさき きたのば

開催の背景

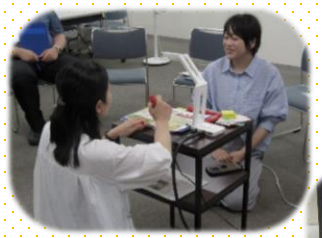
令和7年度第2回のぼりとミーティングにおいて、多くの団体から、広報に関して右のような課題や困り事が多く共有されたことを受け、本ミーティングの参加団体であり、地域で実践的な広報に取り組まれている「NAGOMI～まちの縁側～」にご協力をいただき、広報に特化したワークショップを開催いたしました。



内　容

参加者の皆様に、所属団体で作成しているチラシやSNS等の広報物を持参いただき参加者全員で手に取り、見比べながらNAGOMI～まちの縁側～を中心に「ここが素敵！」「こんな工夫ができそう」といった意見交換を行いました。

終始リラックスした雰囲気の中で会話が進み、団体同士のつながりも深まるきっかけとなる場となりました。


▲チラシを見ながら談笑するNAGOMI～まちの縁側～の皆様


▲チラシアイデアについて話す参加者の皆様


▲モニターに投影したチラシ